

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度国際ロータリーテーマ

第1715回例会

令和4年6月16日 (12:30～13:30)

○ソング

- 我等の生業

○スマイルBOX

- 鈴木孝幸会長（5大奉仕、小委員会、ガバナー補佐、回顧ありがとうございました。来週の会長幹事回顧、緊張しています。）
- 須藤正樹幹事（五大部門の委員長様お疲れ様でした。）
- 小林義勝会員（結婚祝いありがとうございました。皆で美味しくいただきました。）
- 水上泰真人会員（本日は声帯を痛めてしまっており欠席致します。先日のゴルフは楽しく参加させていただきました。また宜しくをお願いします。また、結婚祝いをいただきましてありがとうございます。）
- 金田昇会員（本日はガバナー補佐として回顧の報告をいたしました。一年間お世話になりました。）
- 前原俊治会員（先日の西ロータリーコンペで優勝しました。これからも参加しますのでよろしく。）
- 大住由香里会員（今日はリモート参加ですみません。）
- 成井正之会員（6月12日、鈴木・須藤年度の最後のコンペ行なうことができました。愛好会会長としてのお礼までに。）
- 永野文雄会員（本日発表の委員長さん1年間ご苦労様でした。本年度もあと2回ですね。）
- 運天直人会員（先日のロータリー愛好会コンペで上位にはまったく絡みませんでしたが、バーディーを2つ取ったのでスマイルします。次回は、バーディーと上位目指したいと思います。一年間ありがとうございました。）
- 阿部克弘会員（一年回顧の委員長さん、ご苦労様でした。私はこれから4月から統合された大信小学校で行われる動物ボランティアに行きますので、早退させていただきます。）

▶第1715回例会出席状況 (R4年6月16日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	51名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	65名
Ⓒ ①の出席者数	30名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	3名
Ⓕ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	44名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	62
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	70.9%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



鈴木孝幸会長

皆さん、こんにちは。本日も例会にご参加いただきまして、大変ありがとうございます。本日の例会は、五大奉仕部門の回顧と前回できなかった小委員会の回顧。あとは、金田ガバナー補佐の回顧をしていただくということで楽しみにしております。よろしくお願いたします。実は、今日は私何を話そうか大変迷いました。わたくしが会長の時間で皆さんにお話するのは本当にあと残り僅かということで、是非皆さんに有益な、そして最後くらいはロータリアンらしい話をしたいなと思っていました。いろいろ考えたところ思いついたのがこの本であります。「ロータリークラブに入ろう」という本です。これはIMの時に、何人かの会員に金田ガバナー補佐からいただいた本であります。読まれた方も多いかと思いますが、読まれていない方のほうがほとんどだと思いましたので、今回はこの本のご紹介がてら、ちょっと感想についてお話ししたいと思います。この本は、著者は田中久夫さんと申しまして、現役の高崎ロータリークラブのロータリアンであります。また、高崎経済大学の教授でありまして、更には税理士法人を経営される税理士の方であります。2840地区のガバナーを2017-2018年に歴任されました。数えますと多分60歳という若さでガバナーを務められた方でありまして、現在は65歳であります。1957年2月生まれということで、56年生まれの昭和31年の方々と同級生ということで、うちのクラブでいえば、居川パスト会長、鳴島パスト会長が同じ年ということを言いますと、大体イメージが掴めるかと思えます。私のこの本の感想は、ロータリーを知るわかりやすい参考書じゃないのかなと思いました。しかしながら、堅苦しい内容ではなくて会員のちょっとふざけたおバかな話も織り交ぜて楽しく語られております。様々な項目についていろいろ記載がありまして、例えばロータリーの勧誘ですね。それから入会、初めての例会の出席の仕方とか、ロータリーの綱領、会員増強の障壁と会員増強の実践とか。あとは、クラブ会長に求められる資質とか器量とか、そういったことがいろいろと書いてあります。そのどこを拾い読みしましても、実際のロータリー活動を踏まえたわかりやすくて、そして面白い内容で、先程言いましたが会員のバカな話も混じえながら語られています。実際、ロータリークラブで活動している我々も、読むとあるあるというふうな感じで頷きながら読める内容が語られています。しかも、それを田中さんはところどころロータリーの精神を織り交ぜつつ語られるところが、大変素晴らしくて私もロータリーに望む考え方とかスタンスについて本当に勉強になるなと思いました。タイトルが「ロータリークラブに入ろう」で、ロータリークラブにこれから入ることを考えている人が読む本と思いがちなんですけども、それも全然いいんですけども、むしろ私みたいにロータリーに十数年在籍した立場のメンバーがロータリアンとして自分を振り返るために読むのも、本当に良い本だなと思いました。私は会長を一年続けて、少しは真のロータリアンに近づけたらと思うんですけども、この本を読みまして

それは本当に大きな勘違いで、まだまだ真のロータリアンになるのはこれからだと気付かせてもらった、まさに目からうろこの内容でありました。私の会長の終わりのこの時期に、ちょうどこの本を読んだものですから、ああまだまだやれたかもなんて思ったりもしていました。この気持ち为例えれば、昨年、周年で行われました中村文昭さんの講演を、子供が大きくなってから聞いた時の衝撃というか、そういった後悔に近いというか、そんな感じわかるでしょうか。もうちょっと早くこの本を読んでればなあなんて、会長のこの一年間、また違う形で違う臨み方で過ごせたのかななんて思っております。実は、会長終了目前に私は来年度はもっともっとツーリングに行こうとか、来年は仕事に集中してロータリーはちょっとさぼるといふか休もうかななんて正直考えておったところでもありますけども、ちょっと考えが変わった次第であります。私の本の感想はこんな感じなんですけども、内容はとていましてネタバレになるので多く話すつもりはないんですけども、心に響いた部分をちょっとだけ紹介したいと思います。まず一つは、米山奨学会について書いています。我々も一昨年前、おとしですか。ミャンマーのチョウ・ナンダさんを世話クラブで受け入れました。そして、一度カウンセラーをやられた方は、最近やられた方は阿部IT委員長とか、藤田青少年奉仕委員長、青木会員そういった方は田中さんが言うのには、奨学生を真面目でひたむきな姿勢に非常に感動して、米山が好きになるんだと田中さんが言っています。米山奨学金については、いろいろ実はナーバスな意見が会員の中でも出る時があるみたいで、日本にとって政治的に良くない関係の国の人に支援するのは面白くない。だから、米山には寄付しないんだという会員が実際にいるらしいです。私も一時そういった考えをちょっと持っていたこともありまして。疑問に思ったことがありました。しかし、先程言いましたとおり、一時米山の親代わりとなるカウンセラーを経験しますと、そういった人は先程の理由で奨学生のひたむきな姿勢とか真面目な姿勢がわかりますから、絶対そう思わないそうであります。田中さんが聞いたという名言を皆様にご紹介したいと思います。「寄付はお金のある方がするのではなく、心がある方がすることなのです。」ということです。素晴らしいと思いました。二つ目を紹介したいと思います。ロータリーの魅力についてです。ロータリーの魅力は、人生の目的を知ることができるからとこの本には書かれています。人生の目的、すなわち人の生きる意味とは何かと。田中さんは先人の言葉に例えて、新渡戸稲造とか内村鑑三などのクリスチャンは、人生の目的は品格の完成にあると言っているといひまして、あと仏教の真言宗では、人生の目的は心を磨くことだと言っているようであります。経営の神様と言われてます稲盛和夫氏の人生の目的は、人は心を磨き魂を高めること、というふうに言っています。田中さんはロータリークラブの活動は、その後まるっきり同じ意味で、自分を磨き自分磨きの旅を経験することができる、それがロータリー。そこが魅力があると語っています。なんか私からだとちょっとうまくこの良さが伝わらないんですけども、是非本を読んでいただきたいと思ひます。三つ目です。高齢者の方は是非ロータリーへということを書かれておりました。高齢者の方へのロータリーの効用。効き目ですね。という記事が書かれています。高齢者の生活に必要なものは、キョウヨウとキョ

ウイクだそうであります。キョウヨウというのは、今日用事があること。キョウイクというのは、今日行く所があること、ということらしいです。田中さんは、ロータリーはまさにこの2つが備わったシニア会員向けの集いであると言っていて、だから高齢者の方は出席率が良いんだと。本当は、週3回でもロータリーがあれば行きたいんだと思っているんだと言っています。まさに、キョウヨウとキョウイクが一週間の生活の中の柱になっているのがロータリーであると、田中さんはこの中で言っています。最後に、会員拡大勧誘についてであります。例え話、かなり強引な面白い勧誘の具体例が書かれておりますけども、最終的に一番大切な目的は、ロータリーに入ることがどれだけ本人のためになるかということ、本人自身がしっかりと理解してくれることが大切だと言っています。勧誘する時は、そこをしっかりと説明して、積極的に活動してくれるメンバーとしてクラブに迎え入れるのが理想でありますというふうに語っています。私はちょっとその点、胸が痛いところではございます。皆さん、せっかく金田ガバナー補佐が紹介された本ですし、とにかく一日でも早く皆さんに読んでいただきたいと思います。一度読んだ方は、もう一度読んでみてはいかがでしょうか。アマゾンで買うことは出来ます。880円です。中古品は190円からあるようです。きっと、ロータリークラブのスタンスが変わるかと思われます。

■幹事報告

須藤正樹幹事

- ロータリー米山記念奨学会事務局長 柚木裕子：ハイライトよねやま267号
- 福島県特別支援教育振興会県南支部 小河原健一：令和4年度福島県特別支援教育振興会県南支部総会の書面開催について（通知）
- 白河赤十字奉仕団委員長 安澤莊一：街頭献血における献血ボランティアについて（依頼）
- ガバナーエレクト事務所事務局 佐藤直子：会長幹事会協議会事項とクラブ会員調査委票のご退出のお願い
- 職業奉仕委員会／社会・国際委員会：中学生のインターシップ事業 将来就きたい職業アンケート
- ガバナーエレクト 佐藤正道、研修委員会委員長 石黒秀司：2022-23年度 研修委員会セミナー開催のご案内

■委員会報告

○ゴルフ愛好会

成井正之会長



皆さん、こんにちは。先日の6月12日、鈴木、須藤年度の最後のコンペを行うことができました。前日まで雨が沢山降って、次の日もできるんだろうかなと思ったら、齋藤孝弘君が来て見事に晴れさせていただいたおかげで、楽しくコンペを行うことができました。「那須陽光クラブ」で19名の参加を得てやることができました。その際に、表彰式あったんですけど、表彰式の時に優勝者の弁は例会の中でということで、今日は前原さんが今回優勝だったものですから、一言優勝の弁をいただきたいなと思っております。前原さん、前のほうにお願いします。

白河西RCゴルフ愛好会第4回コンペ

6月12日(日) 那須陽光ゴルフ倶楽部

優勝	前原俊治	第11位	運天直人
第2位	十文字光伸	第12位	堀田一彦
第3位	成井正之	第13位	吉成真五郎
第4位	水上泰真人	第14位	宮本多可夫
第5位	居川孝男	第15位	鈴木孝幸
第6位	永野文雄	第16位	横田俊郎
第7位	佐藤幸彦	第17位	須藤正樹
第8位	齋藤孝弘	第18位	鶴丸彰紀
第9位	車田裕介	ゲスト	矢内宏
第10位	安部和夫		



○優勝

前原俊治会員



先日のロータリーのコンペで優勝いたしました。本当は、次回の取り切り戦に優勝したいなというふうに思ってたんですが、幸運にもというか残念でもありますが優勝してしまいました。それで、この間のロータリーコンペ、メンバー同じ組で、鈴木会長、安部先生、あと佐藤幸彦君の4名でプレーさせていただきました。本当はその日、私はシニアティーからやろうかなと思ってたんですが、安部さんがいて非常にシニアティーからやると怒られますので、やむを得ずレギュラーティーからやりました。当日は、会長は入れ込み過ぎてあまりスコアも良くなく、安部さんはクラブを忘れてきました。それで貸しクラブでやったものですから、非常にスコアも良くなかった。佐藤幸彦君も、それほどスコアが良くなかったということで、私はその中で非常に皆さんスコアが良くなかったんで、結構リラックスしたもんですから、そこそこの良い成績で終わりました。そういうことで、これからもロータリーのコンペ参加したいと思いますので、よろしく願います。どうもありがとうございました。

○準優勝

十文字光伸会員



皆さん、こんにちは。準優勝させていただきました十文字です。今回準優勝できたのは、一緒に回っていただいた堀田さんと須藤正樹幹事と横田さんと楽しくプレーできたこと。あと、私は2回目だったので、ハンディがまだ30ありまして、そういったことで準優勝できたのかなと思います。それと眼鏡が1週間前に吉野パスト会長のところで新調しまして、視界がちょっと良くなったことによってプレーも少し良くなったのかなと思います。

す。また、次回も楽しく参加させていただきたいと思ひますので、お世話になりました。ありがとうございます。

○成井正之ゴルフ会長

お二方、本当におめでとうござひます。このぐらひ楽しい愛好会です。次年度も、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

■本日のプログラム

一年回顧

五大部門・小委員会

○雑誌広報委員会

大竹憂子委員長



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の
大竹です。年次報告としまして、今年度の
雑誌広報委員会は、副委員長の仁平喜代治
会員と富永章会員の3名で活動させていた
だきました。毎月、「ロータリーの友」の
見どころを紹介する上で、わたくし自身が楽しみながら学
ばせていただき、雑誌広報委員会に携わることができたこ
とを感謝申し上げます。会員の皆様に楽しく熟読してもら
うという点では、スムーズな紹介ができず申し訳ないと思
ひます。ですが、毎回わたくしが紹介すると、ページを追っ
てくださった会員の皆様に助けていただきながら一年間活
動することができました。コロナ禍で各事業が中止、延期
となかなか進まない状況もあり、我がクラブとして「ロー
タリーの友」の記事掲載とはなりませんでしたが、4月号
に県南分区分8クラブの会員と地域の中高生たちで行った清
掃活動が掲載されたことは喜ばしいことでした。最後に、
委員の方々と会員の皆様には大変お世話になり、本当にあ
りありがとうございます。

○社会奉仕委員会

村上堅二委員長



皆さん、こんにちは。社会奉仕委員会、
一年回顧をさせていただきたいと思ひます。
わたくし、委員長の村上と申します。副委
員長に、遠藤会員と小林会員、佐川会員の
4名で、一年間活躍してまいりました。今
年度は、クラブ目標も「新たな奉仕に踏み出そう ロー
タリーの次の百年のために」のスローガンのもと、一年間活
動してまいりました。特に今年度は、R I会長のシェカ
ル・メータ氏の提言によって開催されましたロータリー奉
仕デーの取り組みで、県南分区分として「誇れる町プロジェ
クト」というふうな題目で、令和3年12月19日、実施させ
ていただきました。前日まで大雪だったわけですが、
非常にその開催が心配されたんですけども、当日は朝から
快晴となって、県南の7つの駅、そして8クラブが合同で駅
の清掃をさせていただきました。開催に当たって、県南地
区の他のクラブの方、非常に協力的で活動もスムーズに進
みました。開催に当たって、志賀ガバナーご夫妻と県南分
区分ガバナー補佐、鈴木様が率いる福島グローバルロー
タリークラブから9名、当クラブのほうでは42名の会員と中
学生3名、先生が6名で51名の参加。県南分区分としては、全
体で177名の参加になって、トータルで約200名近い方がこ
の清掃活動にご尽力いただきました。本当にありがとうございます。
この中で、一番思ったのは清掃活動している
と、いろんな方が見てくれるんですね。ロータリーって何

をやっているんだろうって、皆さんよく思うことが多いので、
こういった活動もやっていますよということで、いろんな市
民の方にこのロータリーというクラブをPRできたのかな
と、そこが一番大きなところなのかなという感じが受けま
した。本当にこの事業は、金田ガバナー補佐を始めとする
皆さんのお力をもって、あと各クラブの会長さん、幹事さ
んにお世話になって何とか開催できたんですけども、初
めてその分区分として一つの事業をやるということになっ
たので、次年度も出来ればこういった形で何か県南分区分と
して何かやることもいいのかなというふうに感じました。そ
れからもう一つは、担当例会、講演会でした。鶴丸会員の
お力添えをもって、岡野様に講演をいただきました。倒産
寸前からの復活劇ということで、私たちが見習うことが多
い講演会となったと思ひますが。私たちが事前に岡野さん
とお会いして、いろいろお話を聞いてました。今回、その
講演会ではあくまでもそのはしりとしての講演だったので、
まだまだ少なかつたかと思ひますけども、是非とも次年度
こういった形で岡野さん、また招聘してやってみることも
面白いのかなというふうに思ひました。本当につたない委
員長でしたが、遠藤副委員長、小林委員、佐川委員に支え
られて、何とか無事に終わることができました。本当にあ
りありがとうございます。以上を持ちまして、一年回顧とさ
せていただきます。

○職業奉仕委員会

齋藤孝弘委員長



皆さん、こんにちは。職業奉仕委員会の
委員長の齋藤でございます。職業奉仕委員
会は、日々の仕事を通して世界に貢献し、
職業を通して社会のいろいろなニーズを満
たす自己の職業の品位と道徳水準を高め、
社会から尊重される存在になる。非常に難しいテーマでござ
いまして。要は一生懸命仕事をして、皆さんに尊敬される
人間になれと。そして、ロータリーか他の所でもいいので、
いろいろな所で貢献しろということが目的だと思
って、今回いろいろ見通しました。委員会のメンバーとして
は、上杉さんと櫻岡さんと湊さんということで。ほぼ、湊
さんと私2人で今回の職業奉仕委員会は進めさせていただ
いたということになります。当初は、地球上の人口が今74
億くらいなんですけど、80億になると地球上の過去400年間
の穀物を20年間で食べつくしてしまうくらい食糧危機が
間近にあるということで、その辺を学者級の方をお呼びし
て、今後のそのような食糧事情とかを考えていただきたい
というような委員会にしようかと思ひていたんですけど、日
程が合わないのと日程が変更されたりということで、なか
なか日程が合わずに。女性の立場で今、一生懸命頑張っ
ている方ということで湊さんと相談しまして、青年会議所で
今活躍している近藤有美、「フジ機工」の専務さんなん
ですけど、女性の跡取りということで一生懸命頑張っている
ので、その辺の苦労話と家庭とお子さん生まれたので両立
とか、いろんなことをここでお話していただきまして、非
常に若いんですけど一生懸命頑張っている姿を皆さんに見
ていただいたなと思ひております。なかなか良い委員会
だったなと思ひております。もう一つは、会長の入れ込み
もちょっとあって、国会と証券取引所を見学に行きたいと
思ひてはいました。上杉さん、もしかすると次、議員じゃ
なくなるかもしれないということもあって、なかなかその

選択的には難しいところだったんですが、無事復活当選いたしましたし、上杉さんとも相談しながら、国会の見学といろいろと計画はしていたんですが、なかなかコロナの状況が復活しないということで、できなかったのが非常に残念でございました。上杉さんが議員の最中に、一度どこかでこういうふうな事業をもう一度やってみたいなと思ってますので、その時はよろしくお願いたします。一年間、委員会メンバー、一度も揃ったこともなくおこなってまいりました。湊さんには非常にお世話になっております。まあ、少数精鋭で一生懸命頑張っていました。

○国際奉仕委員会

青木大委員長



国際奉仕委員長、2年連続させていただきました。居残りというか、留年してですね。ただ、なんとか今回は卒業ができましたので、皆さんのご協力のおかげだと思います。ありがとうございます。去年の、ミャンマーの子を当クラブで阿部さんが代表になりながら奨学生を受け入れて、そのご縁があって海外にランドセルを送ろうというような事業が考えられたわけですが。その周年の事業の目玉として行った事業も、このコロナとミャンマーのクーデターとが起って、なかなかその実行には至らないでいました。ただ、集めたランドセルは250個余りありましたので、これをずっと持つておく訳にもいきないうふうな思っていたところ、上杉さんが復活当選をしましたので、何とか頼むことができました。国際的にどこかへそういう援助をしているような団体ないですかというのを確認、探していただきまして、女性の国際協力をしているというジョイセフさんと繋がることができました。今年3月25日にそちらのほうにランドセルを届けることができました。国際奉仕もそのランドセルを届けるだけが事業ではなくて、ジョイセフさんのほうでもランドセルを送るだけではなくて、やっぱりそこにはランドセルだけ貰っても困るんだよという切実な部分で、ランドセル1個に対して千円の協力金という形で送らせていただきました。それは、今年の秋口くらいにすべてまとめてアフガニスタンのほうに運んで、それから分配されるというふうに聞いております。大体その事業が完結するのが、今年12月から。来年1月2月ぐらいに報告会があるということです。またその案内が来た際には皆さん方のご案内をさせていただきますというふうに思います。米山から繋がって、こういった事業になりましたけど、私も米山奨学生のカウンセラーをさせていただきました。先程、会長のほうからあったように、米山のカウンセラーをすると米山に入れ込むというようなことがあると言いましたが、非常に良い制度だとは思いますが、毎年毎年10万円を払うのはちょっと難しいかなというふうに思っております。僕が預かった時は中国の男の子でしたけど、国と国とのいろんな事情があっても、やっぱりそこには人と人の繋がりの中で非常に良い子ですし、そういった繋がりをしっかり大切にしながら、国際的な平和というのはできてくるんじゃないのかなというふうに思っております。私もカウンセラーをさせてもらった時には、彼の実家のほうに一度遊びに行かせていただきまして、寛大なご接待をいただきました。そういった繋がりというの、やはりしてみな

いとわからない部分と思いますし、今回のランドセルでもミャンマーのほうに行って、そういった国の事情が本当は知れば一番良かったんですが、なかなか今回縁がなかったということで、またコロナも落ち着いてきて海外に出る機会も徐々に増えてくると思いますので、そういった中では何かまたこのロータリークラブとして、海外に貢献できるような事業が展開されることを祈念して、私の一年回顧とさせていただきますと思います。一年間。ありがとうございます。

○青少年奉仕委員会

(代読) 須藤正樹幹事



こんにちは。代読いたします。青少年奉仕委員会、年次報告。委員長に藤田龍文。副委員長に島田修一。委員に松永紀男。委員に緑川直人の4人でした。本年度の事業計画は、コロナ禍の影響で当初からは変更を余儀なくされましたが、逆にコロナ禍だからできる事業も少なからずあり実施できました。CKBチャレンジ県南ベースボール大会の開催は昨年同様、神奈川県逗子開成中学校からの参加は見送られ、GKBゴーゴー県南ベースボールとして開催を検討しておりましたが、コロナ禍の影響を受け2度の延期をし調整をいたしました。開催を見送ることになりました。事業計画にはありませんでしたが、小学校への楽器の寄贈を行うことができました。昨年度より、地区ロータリー財団に申請をしていただき、地区クラブからの助成により新品のホルン、現品を修繕したホルンを贈呈することができました。修繕には、諸橋和典会員の多大なるご協力があったこともご報告しておきます。諸橋さんが全て直したということですね。担当定例会では、当クラブより地区RYLA委員会で出向されている中目公英会員による卓話をいただき、RYLAの基本的なことから現状の活動内容などを卓話いただきました。本年度、多くの皆様にご尽力いただき事業することができ感謝しております。以上で、一年の回顧とさせていただきます。

○ゴルフ愛好会

成井正之会長



ゴルフ愛好会の一年回顧をいたします。本年度は、計画どおり4回のコンペを開催することができました。特にYEGの交流コンペ、IM記念コンペをコロナの中で多数の人が参加していただきまして、愛好会の目的であります健康増進と交流と親睦を図ることができました。委員の運天さん、それから前原さん、車田さん、鶴丸さん、皆様に感謝して一年回顧といたします。本日に、一年間ありがとうございます。

○野球愛好会

吉田充監督



こんにちは。野球愛好会の一年回顧をさせていただきます。今年度もコロナの影響で公式試合が全て中止になりました。それでも、練習をしようということで練習を計画しやっただけですが、4人くらいしか集まらなくて4回だけ練習をして終わってしまいました。今年度は、そういったコロナの事情もあって愛好会メンバーがなかなか集まれなかったということではございますが、次

年度、野球愛好会のほうで主幹させていただく東北野球大会がございまして、それに向けてこれから練習に励み、準備をしっかりとしていきたいというふうに思っております。また、次年度は主幹クラブとして西ロータリークラブで主管していただくような形になるので、併せてご協力の程をお願いして一年回顧とさせていただきます。ありがとうございました。

○歴史文化研究愛好会

関谷亮一会長



皆さん、こんにちは。歴史文化愛好会のほうから回顧を申し上げたいと思うんですが、この歴史文化愛好会については今年、去年もですが皆さん先程からお話ありましたようにコロナによって非常に難しいあいだを進んできたんですが、中目プログラム委員長の大変なご厚意によって二つほど、ここで卓話をいただくことができました。一つは、藤田龍文会員のご厚意によりまして、藤田記念館の学芸員であります佐川庄司学芸員さんに谷文晁についてご講演をいただきました。それからもう一つは、南湖神社と渋沢栄一について、中目公英会員のほうからいろいろとそれについてお話をいただくことができました。当初は、なかなかきついこのプログラムの中で、歴史文化愛好会のこの予定をさいて設定していただきまして、本当にありがとうございました。歴史文化愛好会のメンバーは、わたくしが委員長なんですが、副委員長に成井副委員長さん。それから、宮本委員さんということで3名でやってきたわけですが、なかなかこの歴史文化愛好会ではできれば、この白河から外に出て皆さんと一緒にいろんな所を巡ったりして勉強とか、そういうものをしていきたいというふうに思うんですが、なかなかできませんでした。来年度も同じメンバーが歴史文化愛好会ということなものですから、その辺は出来れば外に出て皆さんといろいろな歴史的なものを勉強したいと、そんなふうにも思っておりますので、よろしく願いいたします。

○家族交流・情報部会

堀田一彦会長



皆さん、こんにちは。家族交流・情報部会ということですが、コロナ禍ということもあり、今年度は交流事業行えませんでした。次年度以降はウィズコロナということで、交流事業も行えるようになってきておりますので、次年度以降、家族交流をやってくれるんじゃないかという期待を込めまして、一年回顧とさせていただきます。ありがとうございました。

○県南分区ガバナー補佐

金田昇様



皆さん、こんにちは。本来、ガバナー補佐がこういう所で年次報告をするということはないのですが、ご指名ですので多少一年間を振り返ってお話させていただきます。その前にバイク愛好会なんですが、矢田部さん今日いらっしゃらないんですが、今年度、明々後日、日曜日に初めてのツーリングを1回計画しております。後程、写真か何かでご紹介できますので楽しみにしております。それでは、ガバナー補佐としての報告を読み上げさせていただきます。

2020年吉野会長の推薦によりD2539 県南分区ガバナー補佐予定者として承認を受け活動を開始し、同年10月より4回にわたりガバナー補佐研修を受講し準備に入りました。分区ガバナー補佐事務所としては、諸橋和典分区幹事、藤田龍文副幹事、永野文雄副幹事に就任を快諾いただき開設。2021年7月よりガバナー補佐に就任し担当8クラブのガバナー公式訪問の準備にとりかかり8月31日の白河RCより11月1日の須賀川ばたんRC公式訪問までフルスベックで6クラブ、会長幹事会をのみの縮小版で2クラブの公式訪問を実施できました。

地区行事として10月17日に「レディーロータリアンの集い」11月7日にいわき秀英学園での地区大会が開催され参加しました。分区行事としては、ロータリー奉仕デー「誇れる街プロジェクト」を白河西RC主管のもと8RC+1の9クラブ会員120名学生60名で開催、管内JR駅周辺の清掃作業を実施し多クラブ合同での奉仕活動として注目を集めることができました。

「インターシティーミーティング」はアフターコロナを見すえて対面により、グランドエクスプロザン那須白河を会場に119名の参加で行われました。「森は海の恋人」畠山重篤様に記念講演をお願いしました区内8クラブの会長による現況報告のリーダーズスピーチを行いました。懇親会は対面によりノンアルコールの食事会でしたがオープニングコンサートのチェロ演奏に始まり終始和やかに開催できました。同時開催の「新会員セミナー」は講師に芳賀バスターガバナーをお願いし22名の参加でしっかり行えました。

反省点：担当する各クラブに対し適切な指導や助言が不足し活動を活性化させることができたか疑問です。会員増強は8クラブで純増5名にとどまり女性会員数も増加させることができませんでした。

課題：ロータリーの基礎知識や行動規範など、また活発な活動、会員増強へのクラブ活動の活性化をさらに前へ進めていかなければならないと感じました。区内各クラブに対してそれらのための機会を提供することが地区役員としての大切なつとめであり自身も必要なスキルを習得することが求められます。今後はさらに研鑽を積み知識を習得するとともに地域の一員として経営者として、そして誇れるロータリアンとして活動していきます。ご支援ご協力いただいた鈴木会長はじめ会員皆様に感謝申し上げます。

次年度は、地区の研修委員会に出向いたします。先程、会長のほうでご紹介いただきましたロータリアンとしての基礎知識などをしっかり勉強して、自分が勉強して皆様にご報告し、皆様と共に研鑽を重ねるための努力をしていきたいということを思っております。一年間、ご支援いただきました鈴木会長をはじめ、白河西ロータリークラブの会員皆様のご厚意とご親切に感謝申し上げます。ありがとうございました。